AMEPOKE CAFE アメポケカフェ 2022.09 schedule

9/8 (THU)

Inブランチ北長瀬内ハッシュタグ
19:00-20:00

看護、介護の現場で未然に守る！要介護高齢者の食事やお口のトラブルの見つけ方

instructor 相山達也氏（歯科医師）

要介護高齢者の日々のサポートを最もしてくださっている看護・介護のスタッフさんが、特別な機械がなくてもお口の機能低下（オーラルフレイル）やトラブルに気づくためのポイントをお伝えします。日常の些細な変化を読み取り早期に発見、対応をする事で患者さん・利用者さんの満足度は高まったり、誤嚥性肺炎等で入院を繰り返す頻度を減らせたりすることができます。県内のコロナウイルス感染症の状況によって、可能な範囲での実技も行う予定です。

9/16 (FRI)

Inブランチ北長瀬内ハッシュタグ
19:00-20:00

排せつケア、もっと本気で取り組みたい！そんな時にみて欲しいアセスメントのポイント

instructor 大関美里氏（排泄ケア専門士）

「トイレに行きたいと言われたからお連れする」とか「交換の時間だからパッド交換する」といった、排泄に不都合が起きた時の対処から、その人らしさを取り戻す排せつ支援へもう一歩進みたい！そんな方へ向けてのアメポケオリジナルセミナーです。見えにくいから諦めてしまいがちになりますが、こんな時、どんなことに注意して、どんな風にアセスメントしていけばいいんだろう？そんな時、見るポイントはここだ！と、現場でよく起こる具体的なシーンでどう行動すれば良いかが分かります！

9/20 (TUE)

Inブランチ北長瀬内ハッシュタグ
19:00-20:00

【訪問看護師、ケアマネージャー対象】よい看取りのために〜知識を増やそう〜

instructor 橋本健二先生（医師）

在宅医療の第一線で仕事をされている橋本医師より学ぶ、看取りについてのセミナーです。訪問診療を行い、癌末期から施設での看取りまで多くご経験している橋本医師から看取りに関する知識をもらい、自分の仕事のレベルアップにつなげましょう！

参加申し込み

右横QRコードからお申込みください。質問フォームにて
ZOOMの使い方や講師への事前質問など受付中です。
info@amepocke.jpまたは086-250-2555（代表）まで

ケーキ付♪

セミナー情報随時更新
セミナー情報サイト

秋の健康レシピ

「アボカド、里芋、茹でえびの酢味噌がけ」

アボカドのビタミンCが酢味噌の鉄分吸収をUPさせ、赤血球を作るビタミンB12、葉酸も多いこのレシピは貧血予防になります！

材料

メキシコ産アボカド …… 1/2個
殻つきえび（小） …… 6尾
酒、塩 …… 各少々
里芋（小さめ） …… 3個
酢味噌
白味噌 …… 大さじ2
酢 …… 小さじ2
砂糖 …… 大さじ1/2
辛子 …… 小さじ1/4
白すりごま …… 大さじ1

作り方

1.よく洗った里芋は皮をむき、1．５ｃｍ角に切り耐熱皿に中心を空けて並べ、水大さじ２を全体にふりかけてふんわりとラップをかけて、６００ｗの電子レンジで３〜４分加熱し、粗熱をとってください。

2.小鍋にえび、酒、塩、ひたひたの水を加え、中火にかけて煮立ったら弱火で２分煮て、そのまま茹で汁の中で冷まし、殻をむきます。酢味噌の材料を混ぜ合わせておいてください。

3.アボカドは縦にぐるりと１周包丁で切れ目を入れ前後にひねって半割りにし、包丁の根元を種に刺しとり除きます。縦横半分に切り皮をむき、器にえび、里芋、アボカドを盛り付け、酢味噌をかけてください。

アメポケ
http://amepocke.jp/lp

詳細はHPをご覧ください

まずはアメポケ
LINE 公式アカウント
からアクセス!

最新情報から
動画リクエストまで、
LINEなら簡単！

アメポケ

発行：岡山市南区新保1131-4-2ディアリオ
株式会社アークリード
☎086(250)2555

TAKE FREE

岡山県の医療福祉業界へ届ける、新しい情報サイト

アメポケ

09
通算１号
2022 autumn

特集

岡山光南病院 橋本Drに密着

地域包括ケアシステムとの向き合い方

アメポケとは？

岡山県の医療福祉業界の方々のステップアップを目的とした、学や面白さの詰まった情報満載の動画配信サイト専門的なことから、働き方やセルフケアなどが気軽に学べます。講師のほとんどが岡山の専門家で利用料無料！

- 利用料無料
- 短時間で閲覧可能
- 岡山県の講師が多数出演
- 講師への相談もできる
- ポイント貯めて景品GET

詳細はHPをチェック

Instructor File01

橋本 健二氏

特定医療法人 自由会 副理事長 医師

「野望があるわけではない―必要とされることを、ただやるだけ」

岡山市南区東畦にある岡山光南病院。その法人である特定医療法人自由会と、グループである社会福祉法人敬友会は、様々な医療介護サービスで地域を支えている。合計職員数が一〇〇〇名弱となる両法人の若き副理事長、橋本健二先生は、訪問診療でも最前線に立ち活動されている。また、アメポケを含め講演にも精力的に取り組まれ、専門職の資質向上に努められている。

なぜ訪問診療に取り組まれているのか、また今後の展望についてどのように構想されているのだろうか。

「医者としては訪問診療をメインに活動しています。現在対応しているのが約550名です。患者数をどんどん増やして、拡大していくぞ！とかの野望は特になくて、それよりも診療、看護、業務の質向上や地域の需要を把握し、当グループで問題を解決できるかを重視しています。そのため、地域包括ケアシステムは強く意識しています。その一環として、数年前より自分が先頭に立ち、自宅への訪問診療を強化するようにしました。こうなん医療福祉グループとして地域の方々それぞれのライフステージに、安心して暮らせる場を作りたいと考えています。そのひとつが、『暮らしの保健室』設立です。」

『暮らしの保健室』の構想に至ったのは、地域包括ケアシステムを考える上で、地域との交流や街づくりが必要と考えたからです。また先日、社会福祉協議会や地域包括支援センターの方と話をする機会があり、この地区の困りごとなどを聞きました。買い物難民や移動難民が今後増加傾向にあることが話題にあがり、デイサービスの車の活用を検討しています。宅配事業も考えましたがすでに会社が色々あり、あえて我々が新規で参入する必要はないと考えました。当グループの強みを生かして地域交流するにはどうすればよいかを探した結果、暮らしの保健室に行きつきました。得意とする医療介護の範囲で専門職を配置し、地域の人たちが何でも相談できる場を提供しようと思います。また情報難民にならないように、地域で暮らすうえで必要なサービスは何があるか、またそのサービスはどのように利用できるか、お金はどうなるのか、などを地域の方々が知れるように情報提供、情報発信の機能も作ろうと思います。そして、それを起点として地域の方たちと交流し、集えるような場所へ発展させていこうと構想中です。」

橋本先生のお話を伺い、一貫されていたことは「地域」に向けたこと。地域に向けて、自分ができること・法人ができることを常に考え、全ての活動の軸となっていることを感じました。

Instructor File01

特定医療法人　自由会　副理事長　医師

橋本 健二氏

Hashimoto kenji

岡山県岡山市生まれ、兵庫医科大学医学部卒業
2017年4月より岡山光南病院勤務
日本内科学会認定医、日本消化器病学会専門医、日本消化器内視鏡学会専門医、日本肝臓学会専門医、日本消化管学会専門医
こうなん医療福祉グループ副理事長を担いながら、訪問診療の最前線に立ち医師としても活動されている。
【趣味】スポーツ全般

Recommend video▶「満足のいく看取りをするために～知識を増やそう～」

訪問診療を行い、癌末期から施設での看取りまで多く経験している橋本医師による動画。看取りに関する知識を吸収し、自身の仕事のレベルアップにつなげましょう！

動画はこちら→

Work place ▶ 特定医療法人　自由会　岡山光南病院

“すべての患者さんが身体的、社会的状況に応じた最適な医療が受けられる病院”を掲げ、地域に根ざした医療法人

岡山光南病院では2002年より回復期リハビリテーション専門の病棟を設け、入院生活のなかで退院後の日常生活を見据えたリハビリテーションが行えるよう、設備やスタッフ体制を整えられている。
患者さん一人ひとりに対し「個人サポートチーム*」を結成し、社会復帰（家庭復帰）と寝たきり予防を目的とした個別のリハビリプログラムを作成します。そして、定められた期間のなかで、患者さんが前向きに充実した入院生活を送ることができるようにサポートされている。

医療法人　岡山光南病院　HPはこちら→

Recommend video▶「回復期病院看護師さんに密着してみました」

地域密着の回復期病院である岡山光南病院様の病棟で働く看護師さんに密着した動画。
回復期病院での看護師の役割について理解が深められると思います。

動画はこちら→